

画像不正 と疑われないための 画像処理

得られた原画像を客観的・定量的に評価するためには、画像処理を活用することは必須です。しかし適切な画像処理を行わないと、正確な研究結果が得られないばかりか、画像不正と疑われてしまう可能性もあります。本セミナーでは、自身が研究者であり画像処理のエキスパートの講師を迎えて、研究画像を処理するうえで知っておきたい知識と手法を、Adobe Photoshop CCを使ったデモを交えながらお伝えします。2015年から全国の大学で行っているセミナーを2017年版として、新たな情報も加えて開催いたします。ぜひご参加ください。

開催日時 2017年 7月10日 (月) 17:00～18:30

開催場所 鹿田キャンパス 臨床講義棟 臨床第一講義室

セミナー内容 (90分)

■ 画像の基礎と基本操作

背景とデジタル画像の基礎
不正と疑われるケース
学術雑誌の投稿規定

■ ソフトウェアの活用法

デモ操作 | 画像不正と疑われない画像処理

- ヒストリーログ: 画像処理の履歴を全て自動保存
- コントラスト調整: 投稿論文にふさわしい調整方法

New

定量解析

ノイズ除去・輝度補正・二値化・面積計測

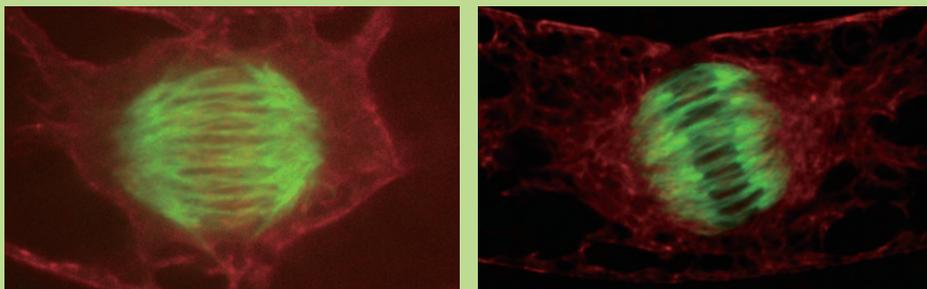
*参加費無料・下記からお申込みください。申込なしでの当日参加も可能ですが、事前登録にご協力お願いいたします。

<http://bit.ly/okayamauniv-G2P1>



論文での画像比較例

下記は画像不正の疑いがあります。誤った画像処理を行ったために問題のある掲載になっています。セミナーではどうすれば正しい処理が行えたのか詳しくご紹介します。



Kojo et al. PSB (2014)

世話人 : 分子医化学 大橋俊孝
本件担当 : 共同実験室 岡本 浩志

内線 7127 メール oohashi@cc.okayama-u.ac.jp
内線 7472 メール kyo2@md.okayama-u.ac.jp

注意: 大学院医歯薬学総合研究科の単位認定にはなりません

主催: 岡山大学 医学部共同実験室 協賛: アドビ システムズ 株式会社

教職員
学生向け
学内セミナー

セミナー講師

湖城 恵氏

東京大学大学院新領域創成科学研究科 博士課程修了。博士(生命科学)。

学部から一貫してライブイメージング研究に従事。博士課程からは画像処理技術の開発にも着手。

主な研究対象である植物培養細胞に加え、共同研究では陸上植物やショウジョウバエ等の画像処理を担当。

研究の質と顕微鏡画像の美しさが評価され、複数の発表論文が国際誌の表紙を飾る。学位取得と同時にエルピクセル株式会社を共同で設立。画像不正問題を受け、画像不正の検出をサポートする「LP-exam」の開発に従事。LP-examはエルピクセル社 Webページにて無料で公開中。

現在、日本学術振興会特別研究員(PD)として画像処理技術の開発に従事。



アドビ システムズ 株式会社
名久井 舞子

第 65 回 共同実験室セミナー 第 2 部

Ai

研究者のための

ポスターデザイン

教職員・学生向けセミナー

学会のポスターセッションで、せっかくの研究成果を伝えきれなかったことはありませんか？もっと多くの人に足を止めて見て欲しい。限られた時間の中でもっと多くの情報を正確に伝えたい。「デザイン」はその解決手段となりえます。見やすくシンプルでロジカルなポスターであれば、限られたスペースの中で効率的に情報を伝えることができます。このセミナーでは、レイアウトや配色、文字など項目別の注意点とポイントなどデザインの基本を学びます。また、Adobe Illustratorを用いた便利な実践方法もご紹介します。Illustratorをご利用の方も、ご利用でない方にも今後のポスター制作のご参考にしていただけるセミナーです。

開催日時
2017年
7月10日(月)
18:40~19:30

開催場所
鹿田キャンパス
臨床講義棟 臨床第一講義室

講師
名久井 舞子 (アドビシステムズ 株式会社)

セミナー内容 (50分)

- レイアウト
内容の構造化、デザインのルールに即した要素の配置
- 文字/文字組み
適切なフォント選び、読みやすさに配慮した文字の組み方
- イラスト
より効率的にイメージを伝えるためのイラスト作成

お申込み

参加費無料

*申込なしでの当日参加も可能ですが、事前登録にご協力お願いいたします。

<http://bit.ly/okayamauniv-G2P1>

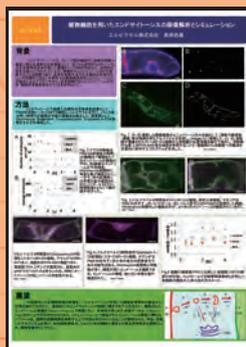


セミナーの内容を
先取り!

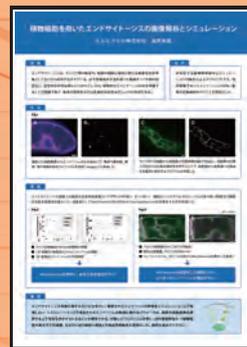
ポスターの
レイアウト比較例

見やすく、伝わりやすいポスターを作成するには、デザインのルールとコツを知り、それを実現できるツールを選ぶことで、そのクオリティは見違えるほどアップします。

> Before
一般的な
プレゼンソフトで
作成したポスター



> After
Illustrator CCで
作成したポスター



世話人 : 分子医化学 大橋俊孝 内線 7127 メール oohashi@cc.okayama-u.ac.jp

本件担当 : 共同実験室 岡本 浩志 内線 7472 メール kyo2@md.okayama-u.ac.jp

主催: 岡山大学 医学部共同実験室 協賛: アドビシステムズ 株式会社 注意: 大学院医歯薬学総合研究科の単位認定にはなりません